

デジタル市場における競争のための政策目標の共有（仮訳）

世界各国の政府は、急速に変化するデジタル市場における競争の懸念に対処しようとしている。我々の共通の目的は、競争政策に対する世界的に首尾一貫したアプローチを促進し、オープンで競争可能なデジタル市場を確保することである。

1. 競争は、デジタル経済の可能性を最大限に引き出すための鍵である。

競争力のあるデジタル市場は、経済成長の原動力となり、イノベーションを促進し、生産性を向上させ、消費者に高品質で適正な価格の商品・サービスを提供する。支えとなる政策と規制のアプローチの目的は、デジタル市場に横断的に競争を促進する条件を醸成することにある。

2. デジタル市場のユニークな特徴が競争の懸念をもたらす。

デジタル市場は、ネットワーク効果、規模の経済、大量のデータの集積、プラットフォーム・ビジネスモデルによって特徴付けられる。このようなデジタル市場の特徴は、特に支配的な既存企業に有利な「傾き」が生じやすいことを示している。このような状況は、既存企業の地位をさらに強固なものにし、新しい企業が競争して成長する機会を妨げ、次世代のイノベーションが生じることを妨げる可能性がある。

競争促進のための効果的な政策は、デジタル市場における新規企業やチャレンジャー企業の参入障壁に対処し、企業と消費者の選択の幅を広げるものでなければならない。政策と規制のアプローチは、競争のメリットを反映した成果、価格、契約条件を伴う、オープンで競争可能な市場を支えるものでなければならない。

3. 我々は、デジタル市場における競争を促進するために、積極的なアプローチをとる必要がある。

我々の政策は、デジタル市場の新たな特徴を認識し、執行機関と規制当局に市場の力とそれがもたらす弊害に対処する権限を与えるべきである。

規制当局と執行機関は、デジタル市場の競争上の影響を理解し、新しいビジネスモデル、イノベーション、次世代技術に注意を払うために必要なツールと能力を迅速に構築するべきである。変化のペースや、消費者や小企業のデジタルプラットフォームへの依存度を考慮すると、企業に明確でタイムリーな期待を与え、競争上の問題に早期に対処

する能力を提供する、厳密で証拠に基づく規制が必要である。

4. 世界的に一貫性のあるアプローチを確保するために協力しなければならない。

デジタル市場は真にグローバルなものである。我々は、協力することで、その影響力と効果を最大限に高めることができる。これには、定期的な対話を通じた協力、情報交換、調査やベストプラクティスの共有が含まれる。我々は、デジタル市場における競争を促進するという共通の利益に基づいて、協力を深め、国際的な政策及び執行のアプローチの提携をすることを目指す。